

## 編集後記

( 57巻 第8号 2011年8月 )

なでしこジャパンがやってくれた。男子サッカーの陰に隠れて、今まであまり日の目をみなかった女子サッカーだが、今回の大会をみて、そのレベルの高さに驚かされた。決勝戦は、女子サッカー大国の米国との対戦で、結局、PK戦にての決着となった。PK戦を制して優勝を遂げたのもすばらしいが、得点が0-0ではなく、米国相手に劣勢を跳ね返しての2-2という戦いぶりが日本中を感動させた。

今の日本を立ち直らせるのは「なでしこパワー」ではないかと思えてくる。本物の「日本男児」は、すでに過去の遺物になったようだ。震災後の対応を見ると、覚悟のない、女々しい日本男児達が今の日本の舵取りをしているようである。

( 小川 修 )